

平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月7日
上場取引所 東

上場会社名 ベルグアース株式会社
 コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 越智 正勝 (TEL) 0895-20-8231
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第1四半期の業績(平成25年11月1日～平成26年1月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	400	0.7	△162	—	△160	—	△101	—
25年10月期第1四半期	397	2.0	△143	—	△137	—	△84	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	△79.58	—
25年10月期第1四半期	△66.80	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第1四半期	2,443	925	37.9
25年10月期	2,643	1,035	39.2

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 925百万円 25年10月期 1,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,080	7.1	160	△19.7	300	34.7	183	30.4	144.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年10月期 1 Q	1,269,900株	25年10月期	1,269,900株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年10月期 1 Q	41株	25年10月期	41株
-------------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年10月期 1 Q	1,269,859株	25年10月期 1 Q	1,269,900株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感から円安・株高が進み、景気は緩やかに回復してきたものの、海外の経済不安や平成26年4月に実施される消費増税の影響など、依然として先行きは不透明な状況であります。

当社の属する農業分野におきましては、農家の高齢化及び後継者不足、T P Pの影響などが懸念されますが、野菜苗の需要は引き続き拡大傾向にあります。

しかしながら、当社の第1四半期累計期間(11月～1月)の業績は、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少するため、売上高が他の四半期と比較して少額となる傾向にあります。また、コスト面では、減価償却費や間接部門の人件費等が各四半期に概ね均等に発生することに加え、燃料費などの冬季経費が増加するなどの季節的な業績変動要因があります。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間の売上高は400,529千円と前年同四半期と比べ2,904千円(0.7%)の増収となったものの、損益面では人材及び研究開発部門への投資を積極的に実施した結果、営業損失は162,705千円(前年同四半期は営業損失143,290千円)、経常損失は160,054千円(前年同四半期は経常損失137,047千円)、四半期純損失は101,061千円(前年同四半期は四半期純損失84,833千円)となり、概ね計画通り推移いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(野菜苗生産販売事業)

当事業部門における当第1四半期累計期間の売上高は、トマト苗及びメロン苗が順調に伸びた一方で、主力である関東地区のキュウリ苗の受注が減少した結果、322,684千円と前年同四半期と比べ1,672千円(0.5%)の減収となりました。

損益面につきましては、季節的な業績変動要因に加え、今後の更なる成長を目指して人材及び研究開発部門への投資を積極的に実施した結果、セグメント損失(営業損失)は82,572千円(前年同四半期はセグメント損失62,082千円)となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
トマト苗	117,348	103.9
キュウリ苗	121,886	90.1
ナス苗	13,960	90.1
スイカ苗	6,925	112.5
メロン苗	53,166	110.1
ピーマン類苗(注)	660	100.2
その他苗	8,736	157.2
合計	322,684	99.5

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗(7.5cm~15cm)	143,688	99.9
当社オリジナル(アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ等)	127,211	97.3
セル苗(288穴~72穴)	45,911	101.4
その他	5,872	131.9
合 計	322,684	99.5

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	28,265	113.7
関東	222,258	94.1
中部・甲信越・北陸	33,052	88.8
近畿・中国・山陰	17,681	115.0
四国	11,549	183.6
九州・沖縄	9,877	223.7
合 計	322,684	99.5

(流通事業)

当事業部門における当第1四半期累計期間の売上高は、培養土等の農業資材販売が増加した結果、78,879千円と前年同四半期と比べ5,611千円(7.7%)の増収となりました。

損益面につきましては、増収効果及び原価率の改善等により、セグメント損失(営業損失)は5,330千円(前年同四半期はセグメント損失9,989千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ199,919千円(7.6%)減少の2,443,135千円となりました。これは、現金及び預金が53,153千円、たな卸資産が108,831千円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が504,416千円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末と比べ89,612千円(5.6%)減少の1,518,053千円となりました。これは、短期借入金が150,000千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が123,150千円、未払法人税等が50,526千円、賞与引当金が25,400千円、長期借入金が39,364千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比べ110,306千円(10.7%)減少の925,081千円となりました。これは、剰余金の配当及び四半期純損失の計上により利益剰余金が109,950千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において概ね計画通り推移していることから、平成25年12月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	307,351	360,505
受取手形及び売掛金	811,028	306,612
商品及び製品	7,387	8,500
仕掛品	44,986	137,126
原材料及び貯蔵品	70,769	86,348
その他	43,133	116,899
貸倒引当金	△1,067	△403
流動資産合計	1,283,590	1,015,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	605,598	587,317
機械及び装置(純額)	107,439	106,821
土地	452,854	452,854
その他(純額)	64,729	149,671
有形固定資産合計	1,230,622	1,296,664
無形固定資産	36,664	36,562
投資その他の資産	92,177	94,320
固定資産合計	1,359,464	1,427,547
資産合計	2,643,054	2,443,135
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375,822	252,672
短期借入金	250,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	170,534	164,322
未払金	98,292	120,325
未払法人税等	52,308	1,782
賞与引当金	44,000	18,600
その他	58,874	41,850
流動負債合計	1,049,832	999,553
固定負債		
長期借入金	531,322	491,958
資産除去債務	25,843	25,969
その他	668	572
固定負債合計	557,834	518,500
負債合計	1,607,666	1,518,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	241,494	241,494
利益剰余金	459,867	349,917
自己株式	△66	△66
株主資本合計	1,032,789	922,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,597	2,242
評価・換算差額等合計	2,597	2,242
純資産合計	1,035,387	925,081
負債純資産合計	2,643,054	2,443,135

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
売上高	397,625	400,529
売上原価	387,943	390,902
売上総利益	9,681	9,627
販売費及び一般管理費	152,972	172,333
営業損失(△)	△143,290	△162,705
営業外収益		
受取利息	2	26
受取配当金	—	50
受取手数料	2,474	2,352
補助金収入	850	765
貸倒引当金戻入額	2,778	663
その他	1,581	934
営業外収益合計	7,686	4,792
営業外費用		
支払利息	1,437	1,619
その他	6	522
営業外費用合計	1,443	2,142
経常損失(△)	△137,047	△160,054
特別損失		
有形固定資産除却損	—	20
リース解約損	—	274
特別損失合計	—	294
税引前四半期純損失(△)	△137,047	△160,349
法人税、住民税及び事業税	388	432
法人税等調整額	△52,601	△59,720
法人税等合計	△52,213	△59,288
四半期純損失(△)	△84,833	△101,061

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	野菜苗生産販売 事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	324,357	73,268	397,625	—	397,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	324,357	73,268	397,625	—	397,625
セグメント損失(△)	△62,082	△9,989	△72,072	△71,218	△143,290

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△71,218千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	野菜苗生産販売 事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	321,650	78,879	400,529	—	400,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,034	—	1,034	△1,034	—
計	322,684	78,879	401,564	△1,034	400,529
セグメント損失(△)	△82,572	△5,330	△87,903	△74,802	△162,705

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△74,802千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。